

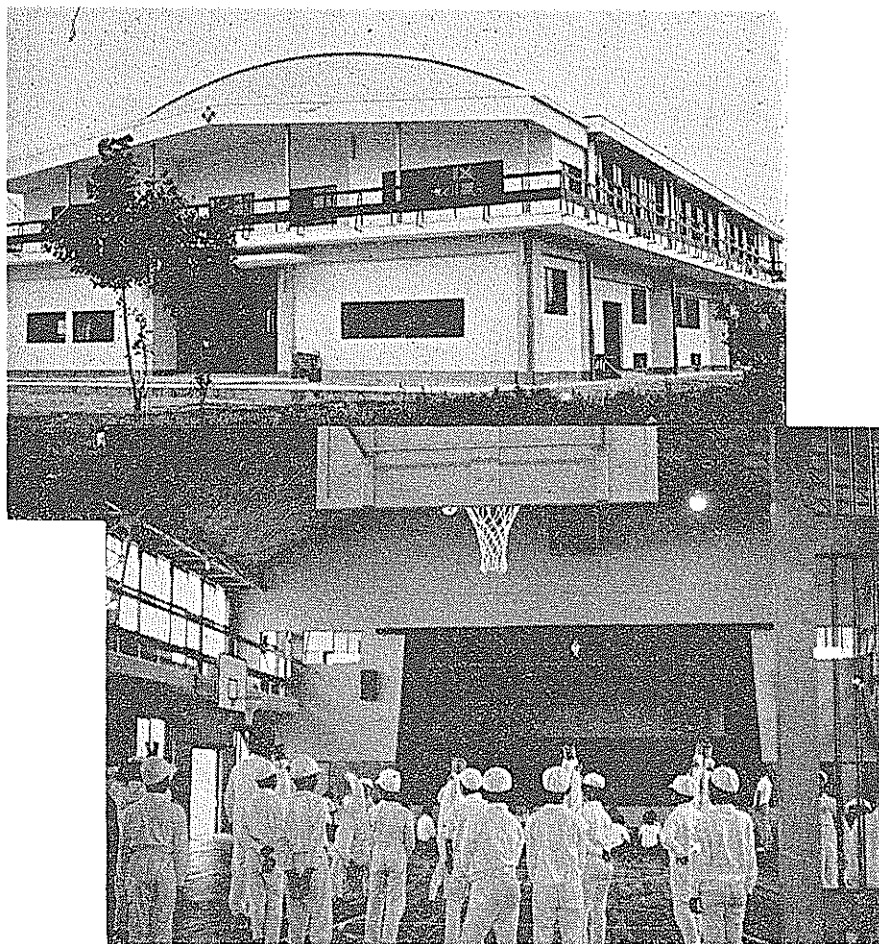


高知時報

第 67 号

昭和40年7月25日

編集発行
南 国 市 広 報 委 員 会
事 務 所
高 知 県 南 国 市 役 所 内
(電 2111)
印 刷 川 北 印 刷 株 式 有 限 公 司
(電 3151・有線155-11)



充 実 する 中 学 校

市内には七つの中学校があり、それぞれ教育の効果を上げていますが、市で最初に統合充足した香長中は、鉄筋三層建ての教室と、いまなお設備の充実が図られています。

ことしはじめにでき上がった屋

内体育館では、生徒たちの躍動する姿がみられ体位の向上に役立っています。市の北部には、北稜中学が統合充足することに決まり、こんご、しだいに充実されてゆくことになっています。

実である。だが、高知県で交通事故があり二、三人死んでも、お隣の徳島の新聞にも出ないだろう。交通事故死はなんだかあまりにもあっさりあきらめすぎているようだ。もう少し考え直してはどうだろうか。事故する場合は半殺しにするな、いっぺんに殺してしまえとの声すら聴く。陸の交通事情は益々悪くなるばかりか、広い海上でも事故はだんだん多くなっている。これから進む方向は海中と空である。海中の事故は誰も知らぬ間に永遠に海底に沈むことであり、大空の事故は必ず地面に落下し、落下した場所に二次の事故を起す。便利な交通機関は益々発達するが、安全性の発達はどうも遅れているようだ、もうそろそろ安全性の発達のため人間は本腰を入れてもけっして遅くはない。



四國の、しかも土佐から言えば北海道は最も遠い地である。ここで殺人事件でもあれば全国の新紙紙上をにぎわすことは確

7月の人口

—6月の異動—

出生	40	死亡	36
転入	445	転出	292
6月末の人口		42,426	
世帯数		6月	
6月		11,223	